

建設産業委員会会議録

平成 27 年 11 月 10 日（火）

午後 3 時 30 分 開会

○成田吉毅委員長

ただいまより建設産業委員会を開会します。協議題 1 「閉会中の調査事項について」を議題といたします。先般の行政視察では、皆さまお疲れ様でした。行政視察を終えて、皆さまの感想やご意見を事前にいただいておりますので、順にそのご意見についてご説明ご提言等をお願いしたいと思います。まず、横浜市、川越市、香取市の順にお願いいたします。報告書はお手元に配布しておりますので補足としてお話ししておきたいことをお願いします。

それでは、竹内委員からお願いします。

○竹内功治委員

【資料に基づき補足説明】

○山本佳代子委員

【資料に基づき補足説明】

○久世孝宏委員

【資料に基づき補足説明】

○岩田玲子委員

【資料に基づき補足説明】

○新美保博委員

【資料に基づき補足説明】

○山田清一委員

【資料に基づき補足説明】

○笠井市民経済部長

【資料に基づき補足説明】

○成田吉毅委員長

横浜市は川越市もそうでしたが、今部長からもお話しがありましたがデータ収集をもとに観光戦略をしっかりと立てている。入込客数ではなく実態調査をした集客実人員調査は非常に大きいと思いました。半田市は入込客数で主催者発表。あと盆踊りの人数も入っているというようなこともあって観光戦略としては少し弱いという所が横浜市に視察に行ってもよかった。データ調査をしっかりとやっていて、しかも経年比較し、毎年季節ごとにやっていることが大きい。これはやはり早急に次年度とも言わず、提言してすぐにもできることだと思いました。それからそれをもとに国内・国外に対する観光の戦略の立て方も明快だったこともポイントでしたし、回遊性を高めるために公園の管理規制を緩和して毎週、山下公園などでイベントを行うことで、行けば何かやっているぞ。というところで集客を図っていました。あと観光専用バス。これは半田市でできるかどうかわからないですけどバスも採算性ではなく観光のイメージアップと周遊性の向上に目を向けてやっているみたいなどころやそういったこともきちんと戦略の中で行われていることが印象的でした。繰り返しになりますが、市役所内に観光に対する協力体制がしっかりあって、川越市もそうでしたが協力するというような風潮がありますので、しかも

公募制でやっている。やる気のある人が手を挙げてその部署でしっかりやるというのがいいのではないかと思いました。やはり赤レンガ倉庫も年間1億4千万円の収益があるというのは大きいと思いました。確かにかけているお金から計算すると30年、40年、50年くらいかかるかもしれませんが、確実に収益があるということは半田市の赤レンガ建物の取り組みとは全く違うのでその辺を提言出来たらしたいと思いました。

続いて、川越市について順にお願いします。

○竹内功治委員

【資料に基づき補足説明】

○山本佳代子委員

【資料に基づき補足説明】

○久世孝宏委員

【資料に基づき補足説明】

○岩田玲子委員

【資料に基づき補足説明】

○新美保博委員

【資料に基づき補足説明】

○山田清一委員

【資料に基づき補足説明】

○笠井市民経済部長

【資料に基づき補足説明】

○成田吉毅委員長

川越市も観光アンケートの調査とその報告書をしっかり作っていて、それを基に戦略を打ち出しているというところが非常に大きいと思いました。詳しく聞くと入込客数という感じですが、川越まつりのときも4か所くらいシルバーさんに立ってもらって聞き取り調査をしているということもありました。シルバーさんを上手く使っているという言い方もあれですが、積極的に自発的におらが町のためにやっている感じでやりがいがある感じで、人件費のことも考えたらシルバーの観光ガイドは、そういう発想はなかったのでもこういうこともやれたらすぐにでもやれるのではないかと行政から働きかけるとしたらこういうことではないかと思いました。それから自転車シェアリングについては、僕らも乗って非常に便利だったのですが、年間すごくお金がかかるんだとするとやるべきではないと思うので、もしも安くやれて事業者が乗っかってくれるのであれば自転車シェアリングも。今半田市はアイプラザに自転車が置いてありますが、そうじゃなく街中におしゃれな感じであると通勤の方も使っていて、例えば赤レンガやMIM、駅前、運河、南吉のあたりに置いてあれば歩かなくてもいいので、そういうのがあるといいかなと思いました。確か、蔵のまちエリアは交通規制をかけたいけど地元住民が反対して平行線。その辺は佐原の住民理解度と比べると川越市はまだ反対しているけど。日中にあれだけ人が集まってお金が落ちているような感じであれば、それも一つの方向かなとみさせていただきました。川越市と横浜市はデータ収集がしっかりしているので、半田市は今年、観光元年ということでこういうことから地道にしっかりやっていくことと思いました。

では、次に香取市について順にお願いします。

○竹内功治委員

【資料に基づき補足説明】

○山本佳代子委員

【資料に基づき補足説明】

○久世孝宏委員

【資料に基づき補足説明】

○岩田玲子委員

【資料に基づき補足説明】

○新美保博委員

【資料に基づき補足説明】

○山田清一委員

【資料に基づき補足説明】

○笠井市民経済部長

【資料に基づき補足説明】

○成田吉毅委員長

香取市は民の力で町並みを作ってきたということ感じでした。重伝建についても地元の方たちが1軒1軒まわって話をつけてきたということでした。それを真似して取り入れるというのは難しいと思いました。行政がやれることと民がやっていくこととは分けて考えなくていかなくはいけないというところ。そうすると逆にいうとあれだけNPOや町並みが保存されていて、外から来た人がそこに住んで料理屋をやって、それで経営が成り立っているということは収益があるということなので、それは成功事例としてあるんですが、観光としての戦略を持って香取市が取り組んでいるかという点とあまりピンときていないような感じがしました。あと香取市全体で700万人が来ている。佐原の町並みで年間50万人、お祭り抜きで。というとこれは入込客数という感じで、年間10万人かなという感じにとれました。逆に言えばきちんと実人数をとりながら戦略を立てて人を呼び込んで流入人口を増やして町を活性化させながら観光に取り組んでいたの、半田市にも取り入れられないかと思いました。紺屋海道に茶色の線を引いていますが本当に紺屋海道でいいのか。半田運河の辺が充実してくるのであれば周遊ルートをそこに持ってきて、そこに毎週イベントをやるとか出店しているとかすれば、そこに一つルートができると半田市に置き換えると思いました。以上です。

他にご意見等ございますか。

【発言する者なし】

ありがとうございました。それでは、今、皆さんにいろいろご意見をいただきました。今後の進め方として次に県内視察等も考えていきたいと思っています。しばらく休憩します。

午後 4 時 07 分 休憩

午後 4 時 50 分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開します。4時間滞在や観光戦略を考えられるような方やしくみ等、先進

事例のある場所と内容を各委員で探していただいて、11月16日の午前中までに事務局に送付してください。16日は議員勉強会がありますので、当日ご配布できるようにいたします。

次のその他を議題といたします。次回の委員会は、11月17日午前9時30分から委員会を行います。

次に、県外視察の反省点について、議長からとりまとめるようにとのことです。しばらく休憩いたします。

午後 4 時 51 分 休憩

午後 4 時 55 分 再開

○成田吉毅委員長

委員会を再開いたします。それでは、特にないようですので、建設産業委員会を閉会いたします。

午後 4 時 55 分 閉会